

平成 21 年 6 月 22 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名

東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号
六本木ヒルズ森タワー

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人

代表者名 執行役員

鈴木 博之

(コード番号：8981)

資産運用会社名

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社

代表者名 代表取締役

鈴木 博之

問合せ先 管理本部長

板橋 昇

TEL. 03-6439-0333

2009 年 5 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2009 年 5 月度の月次総売上高並びに宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人である株式会社ホテルマネージメントジャパンから開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

ホテル／項目		5 月度	対前年 同月増減 注 7)	(参考) 累計 注 8)	(参考) 対前年 累計増減 注 9)
神戸メリケンパーク オリエンタルホテル	稼働率	53.5%	-28.9%	70.8%	-6.2%
	ADR (円)	17,984	1,869	15,700	385
	RevPAR (円)	9,613	-3,651	11,109	-683
	売上高 (百万円)	541	-115	4,629	-534
オリエンタルホテル 東京ベイ	稼働率	65.6%	-5.8%	84.1%	6.0%
	ADR (円)	19,948	-1,012	18,729	-656
	RevPAR (円)	13,077	-1,871	15,751	607
	売上高 (百万円)	522	-24	5,112	38
なんばオリエンタルホテル	稼働率	56.6%	-30.3%	77.3%	-10.2%
	ADR (円)	10,928	206	10,540	-25
	RevPAR (円)	6,182	-3,135	8,144	-1,096
	売上高 (百万円)	134	-31	1,360	-122
ホテル日航アリビラ	稼働率	73.2%	-9.8%	74.3%	-0.3%
	ADR (円)	26,518	2,680	22,517	411
	RevPAR (円)	19,409	-365	16,726	247
	売上高 (百万円)	443	-28	3,553	-61
オリエンタルホテル広島 注 6)	稼働率	69.0%	-1.1%	71.3%	11.4%
	ADR (円)	9,788	349	9,001	236
	RevPAR (円)	6,754	140	6,418	1,167
	売上高 (百万円)	190	13	1,639	158
上記 5 ホテル合計	売上高 (百万円)	1,829	-185	16,293	-522

5 月度の実績に関するジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社（資産運用会社）からのコメント：

神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、GWの受注が好調だったこともあり、月前半は対前年同月を上回るペースで推移したものの、5月16日、神戸市内で国内初となる新型インフルエンザ発症が確認されると、マーケット全体で宿泊予約のキャンセルが相次ぎ、またその後の予約のペースも著しく鈍化し、売上は前年同月を下回りました。料飲部門においても新型インフルエンザの影響は大きく、婚礼部門売上が前年同月をほぼ維持したものの、一般宴会部門はキャンセル発生により件数が減少し、レストラン部門は来客数が減少したため、部門売上では前年同月を下回りました。その結果、ホテルの総売上は、前年同月を約115百万円下回りました。

オリエンタルホテル 東京ベイ（旧：新浦安オリエンタルホテル）について

宿泊部門では、GWは順調だったものの、TDR25周年イベントの終了に加え、中旬以降は新型インフルエンザの影響を受け、ADR、稼働率共に前年同月を下回り、結果として売上は前年同月を下回りました。レストラン部門においては、GW中のスペシャルブッフェがテレビで紹介されたこと等から昼食及び夕食が好調に推移し前年同月の売上を上回りました。宴会部門では、一般宴会及び婚礼宴会共に前年同月を上回りました。結果としては、ホテルの総売上は前年同月を約24百万円下回りました。

なんばオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、GWはほぼ昨年並みで推移したものの、円高を受けた韓国インバウンドの弱含み基調が継続する中で、中旬以降は新型インフルエンザの影響で更に落ち込み、ADRは対前年同月を上回ったものの、稼働率は大幅に落ち込み、売上は前年同月を下回りました。結果的にホテル総売上は前年同月で約31百万円下回りました。

ホテル日航アリビラについて

宿泊部門では、高単価で客室販売が出来たGW期間中が順調に推移したものの、それ以降は沖縄本島への入島者数が対前年比で下落する中で、ADRは対前年比で上昇したものの稼働率は低下し、売上は前年同月を下回りました。料飲部門も、宿泊者数の減少を主因に売上が前年同月を下回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約28百万円下回りました。

オリエンタルホテル広島について

宿泊部門では、予約ソースの拡充及びネット販売を中心にしたセールス活動が奏功し、売上が前年同月を上回りました。料飲部門においては、レストラン部門は前年同月を上回り、宴会部門は、一般宴会は件数減により前年同月を下回ったものの、婚礼宴会が件数増、及び件単価増により前年同月を上回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約13百万円上回りました。

※ご参考

新型インフルエンザの影響について

国内での新型インフルエンザの発生により、宿泊、一般宴会、レストラン等の予約キャンセル（直接的影響）及び来館者数の減少（間接的影響）に伴う売上減が発生しております。尚、5月度における新型インフルエンザの影響のうち、予約キャンセル額（直接的影響）は、神戸メリケンパークオリエンタルホテルでは約55百万円、なんばオリエンタルホテルでは約9百万円、その他ホテル合計では約6百万円、5ホテル合計では約70百万円となっております。

注 1) 上記のコメントは運用会社が貸借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、運用会社による独自の検証を行なう性質のものでもなく、個々の数字・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご注意ください。

注 2) 各月の数字については監査等の手続を経ないため、各月を合計した金額は、後に提出する半期報告書、有価証券報告書に記載される6ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合があります。また、各月の売上についても、半期報告書、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。

注 3) ADR：平均客室販売単価（Average Daily Rate）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計（サービス料を除きます。）を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。

注 4) RevPAR：販売可能客室数当たり宿泊部門売上（Revenue Per Available Room）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同

期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADRと客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。

注 5) 客室稼働率については小数点第2位を、ADR、RevPARについては小数点第1位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。

注 6) オリエンタルホテル広島については平成19年10月1日取得のため、対前年同月及び累計増減の算出基礎となる平成19年9月の数値は、未監査です。

注 7) 対前年同月増減とは当該月と前年同月との増減を記載しています。

注 8) 累計とは当期期首から当該月までの累計値を記載しています。

注 9) 対前年累計増減とは、当期期首から当該月までの累計値と前期期首から前年該当月までの累計値との増減を記載しています。

以上

* 本投資法人のホームページアドレス : <http://www.jhrth.com/>